

かざし

49号

令和8年8月1日

編集・発行 新潟県立大学同窓会かざし会
http://www.kazashikai.net
印刷所 株式会社DI Palette

はばたけ海老ヶ瀬から ～同窓生はいま～



株式会社ピーエスシー玄関にて

海老ヶ瀬から羽ばたいていった同窓生は、いまどんなところで活躍し、また、どんな学生生活を過ごしていたのでしょうか。夢を叶えてダイヤモンド・プリンセス号やロイヤル・プリンセス号に乗務し、その後日本で日本企業と海外企業をつなぐ仕事に従事している同窓生をご紹介します。

道前 はづき さん (株式会社ピーエスシー)

どのまえ はづき／石川県金沢市出身
2011年 NHKのど自慢チャンピオン大会に石川県代表として出場
2012年 新潟県立大学学生歌作曲（共作）
2015年 新潟県立大学国際地域学部 国際地域学科卒業
2015年～2018年 プリンセスクルーズ社（米）にてダイヤモンド・プリンセス号、ロイヤル・プリンセス号に乗船勤務 ヨーロッパ、アジア、オセアニア、カリブ海地域の40か国に寄港
2018年～2021年 フィリピン・マニラの外資系企業にて社内翻訳勤務
2022年～現在 地元金沢市にて安全規格/認証コンサルタントとして日本国内の機械メーカーと世界各地の安全認証機関との仲介の仕事に従事

クルーズの仕事に興味を持ったきっかけはなんですか

クルーズの仕事を知ったのは高校生の頃でした。小学生の頃に英語教室に通い始めてから、大学の語学研修で英国ウェールズを訪問するまで一度も海外に出たことがなかった私は、とにかく世界中の様々な国に行ってみたいと思っていました。働きながら世界中を回る「クルーズ船の乗組員」としての仕事があることを知った時から、これしかないと思っていました。大学を卒業した2015年頃はちょうど欧米のクルーズ企業が日本市場に参入してくる時期で、日本語話者人材のニーズがありました。日本の船舶企業も合わせて4社に求人応募した結果、米国のプリンセスクルーズ社に採用されました。

「海上のホテル」とも言われるクルーズ船では、海上職と言ってもパーサー（フロントデスク）やギャリー（厨房）メンバー、クルーズスタッフ（イベント企画進行）、ハウスキーパー、ウェイター、バーテンダー、医師、看護師、歌手、ダンサー、ショップ店員、カメラマン、エステティシャン、ユーススタッフ（託児係員）、清掃員など、ありとあらゆるポジションがあります。とにかく「船の上で働くこと」が目標だった私は、在学中に少しでも仕事に関係しそうな経験を積んでおこうと考えました。もともと西洋料理に興味があったこともあり、大学入学から卒業までの4年間に結婚式場でのアルバイトを通してレストランサービスを学びました。元々は歌手志望だったはずがこのレストランサービスがとても楽しく、4年目にはすっかり「天職かもしれない…」と思っていました。そのまま気持ちが変わることはなく、ウェイター職の求人に応募しました。就職活動の合間には何度も横浜港へ赴き、停泊している船体を見に行きました。のちに乗船する事になるダイヤモンド・プリンセス号の出航にも立ち合い、絶対にこれに乗るぞと決意を固めたことを今でもよく覚えています。

日本国内のグループ企業による数回の面接の後、アジア支社（シンガポール）との最終面接へとコマを進め、晴れて春からウェイターとして海上勤務に就くことが決まった時は本当に嬉しく、多国籍環境に飛び込んでいくドキドキと、見たことのない景色を見に行く楽しみで胸がいっぱいでした。



長く乗船していたダイヤモンド・プリンセス号クルーの居住スペースは海面下にある

クルーズの仕事のやりがいについておしえてください

特に日本人のお客が多くご乗船されている時に悩んだのが「会社が求めるサービスとお客様が求めるサービスの違い」でした。多国籍環境では、日本人のお客様が日本人クルーに期待するレベルのサービスができない葛藤がありました。ある時、乗船したばかりのお客様に最寄りのお手洗いの場所を尋ねられ目印の場所を説明したところ、その目印自体が不確かなのか、まだ不安そうな

▶ 次ページに続く

令和8年度（2026年度）新潟県立大学同窓会かざし会総会のご案内

- 日時 令和8年9月27日(日)
午前10時より
- 会場 新潟県立大学
コモンズ3号館2階
5205講義室
- 受付 午前9時30分～
- 総会 午前10時～

- コンサート
秋の音楽のひととき
～2台のピアノ、ヴァイオリン、ソプラノ～
子ども学科教授 石井玲子様
ピアノ 梅津幹子様
ヴァイオリン 佐々木友子様
ソプラノ 平野佳恵様



石井玲子様

- 学内見学案内 希望者 12時～
- 会費 無料
- 申し込み 同封のはがきで
8月31日必着
- その他
・懇親会は行いません
・記念にお土産をお持ち帰りをいただきます

ご様子でした。私が日本人だとわかってお声がけくださったのだらうと思い近くまでお連れしたところ、たまたま通りかかった上司に「一人の乗客に対して過剰な対応だ」と叱られてしまいました。

それでも自分にできるサービスがあるはずだと、上司の目には気を付けつつ、せっかくご縁のあったお客様と積極的にコミュニケーションをとるようにしました。船内の洋食に疲れてしまったご年配のお客様の代わりに寿司レストランを予約して厨房に薄めの味付けをお願いしたり、ビール好きなお客様に日本ではあまり見かけない海外ビールを日替わりでご紹介したりと、日本人だからこそ掴めるお客様のニーズをどんどん他のクルーにも伝え、周囲を巻き込んだサービス向上に努めました。

ある時、日本人のお客様が「涙そうそう」という沖縄の曲が大好きなのだと教えてくださり、当時ペアを組んでいたウェイター



上司たちに船内の寿司レストランにて送別会を開いてもらいました



船内ステージ「プリンセス・シアター」にて歌で盛り上げる

に相談して最終日に披露したところ、大変喜んでいただくことができました。これがレストラン総支配人の耳に入り、担当するテーブルだけでなく全てのレストランを回って歌う「フェアウェル・タイム」を設けるのが恒例になりました。日本人のお客様が多いレストランでは日本語の曲を、外国籍のお客様が多いレストランではイタリア語の曲を披露し、他のクルーと一体になってクルーズの最後のディナーを盛り上げることができました。環境が異なるから思うようにいかない諦めるのではなく、周りを巻き込んで自分の信じる仕事を追求した結果、お客様に喜んでいただくことができてとても嬉しかったです。

大学での学びが仕事に活かされたと感じたことをおしえてください

故・木佐木先生がよく仰っていたのは、異なる文化や考え方に直面した時に「共感しなくてもいいから認知する」ことが大切だという言葉でした。海上勤務はまさに多文化共生そのもので、100を超える国々から集まったクルーが衣食住を共にしながら半年以上の間ともに働きます。生まれ育ってきた環境や言語、考え方がみな異なり、自己の中で形成されてきた「常識」など役に立ちません。アジアの国々は以心伝心が成り立つハイコンテクスト社会であると言われますが、多文化環境では言葉にしないと伝わりません。クルー同士がそれを一番よく体感しており、「言わなくてもわかってね」が互いに発生しないのはむしろ健全だと思うこともありました。仕事と生活の中で共感も理解もできないような行動や気持ちのぶつかり合いを目にすることもありました。しかしすべてに共感する必要はなく、大切なのは否定しないことだと知っていたおかげでどんな時も臆せず対処することができました。

「共感しなくてもいいから認知する」はもともと多文化共生の文脈での教えでしたが、大学で国際系の学部を卒業した後、全く海外と関わることもない仕事に就くこともたくさんあると思います。海外勤務を経て地元に戻り仕事をしている今、むしろこれは多文化環境であるに関わらず、社会で様々な人と関わっていく中で大切な、普遍的な考えであると実感しています。

もうひとつは「手に職」としての英語力です。小学生の頃から英語は好きだという自覚がありましたが、大学卒業前に目標としていたTOEICスコア850を達成でき、就職面で心の余裕が生まれたのは大きかったです。いざ船に乗ってみると専門用語だらけで何を言われているのかちんぷんかんぷんだったり、インド人やインドネシア人クルーの訛りの強い英語が全く聞き取れなかったりして早々に打ちのめされることになるものの、徐々に慣れていく中で特別なチャンスにも恵まれました。通常の給仕の仕事に加え、レストランメニューの翻訳やワインテイスティングでのソムリエの通訳など得意なことを活かしたサービスをさせてもらえたおかげで、その年の社長賞をいただくこともできました。

その後はご縁がありフィリピンのマニラ、そして地元である石川県金沢市へと二度転職することになるのですが、どちらも業界が全く異なり、共通するのは英語を使う仕事であるということだけでした。「手に職」としての英語力を武器に様々なチャンスを掴めたことを思うと、大学時代に地道に英語力を試し続けていてよかったと思います。

今後の目標をおしえてください

米国クルーズ企業でのウェイター職とマニラでの翻訳者としての転職を経て、現在は地元金沢市で国内機械メーカーと海外認証機関の橋渡しをする仕事をしています。これまでとは全く異なる業界かつ高度な専門知識が問われる難しい仕事ですが、様々な人たちの関わりの中で培ってきた対人スキルが役に立つ機会がたくさんあると感じています。例えばお客様へ新たな提案をする際に、相手に何をどう話せば心を動かせるだろうかと想像力を働かせることは有効であるものの、「この人はこういうタイプの人だからこう考えているに違いない」と自分の小さなものさしで決めつけることは避けています。相手の言葉にバイアスをかけ、自分で自分の視野や可能性を狭めてしまうほどもったいないことはありません。また相手の話に一通り耳を傾けることで双方の気持ちに余裕が生まれ、自分が話す時には伝え方も伝わり方も異なります。せっかくお客様と会話をするのであれば、わからないことは逆に教えてもらいつつ、その場を最大限に楽しみたいと思っています。

仕事以外の面でも、最近「家族とのかけがえない時間を大切にする」という大きな目標ができました。昨年7月に第一子の出産を経験し、現在は夫と子どもと3人で暮らしています。フィリピン国籍の夫は同じクルーズのレストランで働いていた元同僚で、結婚のきっかけは「この先もっと色々な世界を見るのなら一人よりこの人と一緒にがいい」と思ったことでした。結婚してからというもの、地元へ戻ること、出産すること、家を購入することなど大学卒業時には想像もしていなかった決断をたくさんすることになりました。それまでは体一つでやりたい仕事にどんどん挑戦していましたが、出産を機に「子のためにある親としての自分」も大切にしたいと考えるようになりました。元アメリカ合衆国副大統領アル・ゴアが引用した有名なアフリカの諺に“Fast alone, far together（早く行きたいなら一人で行け、遠くへ行きたいなら皆で行け）”というものがありますが、これからは家族3人のペースで、一人ではできない体験を重ねて豊かな旅を続けていきたいと思っています。



現在の職場にて（展示会で機械メーカー向けにワークショップを開催 マイク前：本人）

『こども新聞』から 知ったこと



新潟県立大学同窓会かざし会

会長 白井 智佳子

毎年この原稿に向かう時、一年が過ぎるのを年々早く感じるようになっていきます。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年4月のこども新聞に『モンゴルの学校給食が大きく改善され、子どもたちが喜んでいいる』という記事が、改善された給食メニューと子どもたちの笑顔の写真とともに掲載されていました。

また、5月19日の新潟県立大学後援会総会で、若杉学長のお話の中で「本学では、韓国やモンゴルとの交流が活発に進んでいます。JICAやモンゴルの大学・本学で共同した取り組みとしてモンゴルの給食の充実にも力を入れています。・・・モンゴル国立大学には県立大のオフィスを開設しスタートさせています。・・・」とありました。

これらのことから、昨年度の総会での講演会で健康栄養学科村山伸子教授より「社会経済的環境と子どもの食生活・栄養」に関する興味深い話をお聴きしたことを思い出しました。そこで調べてみましたら、JICA『モンゴル国学校給食導入支援プロ

ジェクト』に村山教授も専門家として参画されていました。開発途上国の国際栄養支援の研究・取り組みを活かし、子どもたちの健康と継続した給食体制の仕組みづくりに貢献されていたことを知りました。

まだまだ活躍実績は多々あるのでしょうが、国際的にも県立大の力が徐々に浸透していることを感じました。県立大の先生方・同窓生・学生のさらなる活躍がとても楽しみです。

さて、かざし会の現状をお伝えします。昨年度総会時に、かざし会入会金についての課題をお話ししましたが、郵送通信費の値上げや、個人情報管理費は2倍以上と膨らみ、その他様々な状況の変化に執行部も頭を抱えております。

かざし会の運営は入学時入会金2万円（1回のみ）と年会費2千円で運営されています。計画的な予算執行を考え努力をしておりますが、今後の事業計画を吟味して運営していきたいと考えております。

そこで、皆様に今年度総会において入会金の変更に伴う会則改正を提案いたします。どうぞ、皆様のご意見を聞かせていただきますようよろしくお願いいたします。

今年度総会後の講演会は、コモンス館音楽室において、子ども学科石井玲子教授によるコンサートを行います。ピアノ・ヴァイオリン・歌を交えた楽しい演奏を計画しています。きつと心に残るひとときとなることでしょう。当日は、一人でも多くの同窓生の皆様とお会いできますことを願っております。

データサイエンスと 国際教育の拠点



新潟県立大学学長

若杉 隆平

この一年、本学が進めた教育研究の一部を御紹介します。

第1は国際経済学部データサイエンス経済コースの開設です。膨大な情報をコンピュータにより解析し、自然・社会・経済・人間行動に関する法則を見出し、社会が抱える様々な問題を解決する試みは以前から見られましたが、近年のコンピュータの処理能力、データ分析技術、通信技術の飛躍的向上により、地球規模での大量のデータが活用できるようになっていきます。こうしたことを背景にデータサイエンスが急速に発展しています。

データサイエンスを駆使する人材の多寡が国・地域の発展を左右すると言っても過言でなく、地域社会からは新潟県立大学におけるデータサイエンス人材の育成に大きな期待が寄せられています。これに応えて本学データサイエンス経済コースでは、理工系大学顔負けの充実したカリキュラムを提供しています。また、

データサイエンスの活用は、企業・自治体・社会の課題解決や付加価値の増大に大きく貢献することから、企業・自治体に教育現場に加わってほしい、課題解決型（PBL）の学びを学生に提供することが有効です。こうした新しい学びを実践するため学内にネットワーク型PBL-Labを整え、学生への教育に備えています。

第2は教育研究の国際交流です。

学部・研究科に北東アジア研究所が加わり、本学は北東アジアに強い日本で屈指の教育研究機関を目指しています。数年前からモンゴル国学校給食導入支援事業を担う大学として交流を続けてきましたが、この一年は、モンゴル国立大学、モンゴル国立科学技術大学等との間で、教員による共同研究、学術交流、学生の交流が特に活発に行われました。こうした交流を一層推進するため、令和7年8月モンゴル日本人材開発センター内に新潟県立大学モンゴルオフィスを開設しました。本学の海外オフィス第1号です。開所式には、新潟から花角知事の他、各界の代表の方々が大勢御参加くださいました。これを機に本学の国際教育研究にさらに弾みがつきます。

人口の自然減・社会減が見られる中、新潟の魅力を高める大学として、県内外、海外から多くの若者が集う拠点を目指しています。

大学組織図

公立大学法人 新潟県立大学

北東アジア研究所

大学院
健康栄養学研究科
健康栄養学専攻

大学院
国際地域学研究科
国際地域学専攻

国際地域学部
国際地域学科
国際関係コース
比較文化コース
露中韓コース

人間生活学部
子ども学科
健康栄養学科

国際経済学部
国際経済学科
国際経済コース
地域経済創生コース
データサイエンス経済コース

令和7年度かざし奨励賞受賞者

かざし会では、在学中の学生の支援のためにかざし奨励賞を創設し、学生の学業以外の様々な活動や取組（国際交流、地域貢献、スポーツ、ボランティア活動、文化活動等）を評価し奨励賞と副賞5万円を授与しています。14回目となる令和7年度は審査の結果6件の受賞が決まり、卒業式・修了式で授与されました。



表彰式の様子

そらいろ子ども食堂

新潟青陵大学と協力して運営し9年目を迎えた子ども食堂。会食型子ども食堂や食材配布を開催した。夏には親子参加の夏祭りを開催。歯科医師会による歯の相談会等も行った。



こどもたちのひみつきち ～くりのき食堂～

毎月地域の弁当屋の提供による弁当で会食をし、企画提案をしておの楽しい遊びの場を設けている。子どもだけでなく地域の高齢者も参加した世代間交流の場となっており子どもを含めた地域の居場所作りとして評価を受けている。

PEANUT

月2回新潟市内の母子生活支援施設に出向き、子どもたちの学習支援や託児ボランティアを継続的に行っている。月1回児童相談所に入所している小中高生に学習支援ボランティアを実施している。



留学生が日本の文化を体験できる機会を作り、在学生と交流できるよう活動している。地域に出かけての清掃活動を継続して行い、他大学や地域とのつながりもできた。連花祭で来場者が民族衣装を着て写真を撮るフォトブースを企画し、多くの方が海外の文化に触れることができた。

NicolvE（ニコルブ）

国際交流ファシリテーター

県内の小・中・高校に出かけて、SDGsの理解を深めるためにワークショップを行った。児童生徒が主体となって考える授業を促すために子どもたちが理解できる説明のやり方や学びにつながるゲームを考え準備や方法の工夫を行った。



新潟県の社会人ラグビーチームに学生として所属し国体出場を目指して4年間継続して競技してきた。新潟県代表に選出され7人制ラグビーでは北信越大会で優勝するなど、県立大学の知名度や評価向上につながった。

方村 雄大

同窓会組織図

◎各部・各科同窓会

- 県立新潟女子短期大学 家政科食物専攻・生活科学科食物栄養専攻（含専攻科）
- 県立大学 人間生活学部健康栄養学科
- 同窓会「さんしょの会」
- 県立新潟女子短期大学 幼児教育科・幼児教育学科
- 県立新潟女子短期大学 生活科学科生活福祉専攻
- 県立大学 人間生活学部子ども学科
- 同窓会「まなざしの会」
- 県立新潟女子短期大学 英文科・英文学科
- 県立大学 国際地域学部国際地域学科
- 同窓会「UNP RICE」
- 県立大学 国際経済学部同窓会「ラーレの会」
- 県立新潟女子短期大学 家政科被服専攻・生活科学科生活科学専攻同窓会「あかね会」（平成29年度で休会）
- 県立新潟女子短期大学 国際教養学科同窓会（平成29年度で休会）

◎全学同窓会

新潟県立大学同窓会
かざし会

学生自治会 より豊かな大学生活をめざして

文責:高橋 侑晟



連花祭の受付

みなさん、こんにちは！学生自治会です！

今年4月で開学18年目を迎えた新潟県立大学では、新入生を迎え、学内は活気に満ちあふれています。

私たち学生自治会は、学生生活をより良いものにするため、行事の企画・運営やサークル活動の支援などを行っています。

昨年6月には学生自治会則の改正を行いました。これまでの会則を見直し、現在の新潟県立大学に合った運営体制の構築を進めました。今回改正された自治会則ではコロナ禍以降開催されていなかった学生自治会通常総会を実施できるように変更を施しました。これにより学生自治会の活動が学生全体にわかりやすく、意見や要望を取り入れやすくなった

と思っております。今後も、より多くの学生の意見や要望を自治会活動に反映できるよう努めていきます。

10月には、新潟県立大学の学園祭「連花祭」を開催しました。目玉企画であるゲストイベントでは、なかやまきんに君さんをお招きし、おなじみのネタや明るいトークで会場を大いに盛り上げていただきました。

さらに今回は、新潟市東区で開催された「東区オープンファクトリー」と連携し、参加企業の特徴が活かされた景品を獲得できるガチャガチャや展示、販売ブースを学内に設け、東区オープンファクトリーの参加者のみならず連花祭に足を運んでいただいた方々にも楽しんでいただけるものになりました。また、学生による模擬店や展示、ステージパフォーマンス、地域の方々にも参加いただいたビンゴ大会により、例年以上に幅広い年代の方々にご来場いただき、大変賑わいのある学園祭となりました。

高校生向け進学相談会「UNP-days!」では、事前に県内外からの応募があり、当日は対面開催に加えてZoomを利用したオンラインでの開催も新しい試みとして始めました。この様子を見ると、新潟県立大学の大学



連花祭ゲストイベント
なかやまきんに君さんによる楽しいトーク

としての人気の高まり

を感じることができました。

今年度も4月に毎年恒例の新入生歓迎会を開催しました。サークル紹介など、新入生が同級生や上級生と交流を深められるような企画を考え、多くの新入生に参加していただきました。今後も、新入生と上級生をつなぐ架け橋となるよう、さらに充実したイベントづくりを目指していきます。

今後も多くの方に楽しんでいただける企画を実施してまいりますので、さらなる成長を続ける学生自治会の活動にご注目いただければ幸いです。

なお、今年度の連花祭は10月24日(土)、25日(日)に開催予定です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

学生自治会の活動は、卒業生の皆さまをはじめ、日頃から支えてくださる多くの方々のご協力によって成り立っています。あらためまして、心より感謝申し上げます。私たちは、皆さまからの温かい支えを胸に、これからも学生一人ひとりが充実した学生生活を送ることができるよう活動してまいりますので、今後とも、学生自治会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



連花祭連携開催東区オープンファクトリーの様子
ブルドーザーであめ玉すくい



新入生歓迎会でのサークル紹介

令和7年度 同窓会総会の様子

日時 令和7年10月5日（日）10時より
会場 新潟県立大学コモンズ3号館

総 会

- 白井会長挨拶
- 若杉隆平学長代理学生部長伊藤巨志様ご挨拶
- 議事
 - ・ 令和6年度事業報告
 - ・ 令和6年度決算報告、監査報告
 - ・ 令和7年度かざし会執行部紹介
 - ・ 令和7年度予算案
 - ・ 国際経済学部同窓会ラーレの会発足報告

すべて議案は承認されました



令和7年度かざし会執行部

講演会

人間生活学部健康栄養学科教授 村山伸子様
 「社会経済的環境と子どもの食生活・栄養」

- 社会経済的環境からなる栄養格差の研究について
- 子どもの栄養格差対策支援として学校給食の充実について 等

貴重なお話をお聴きすることができました

学内見学(希望者)



先生方もおいでくださり和やかな雰囲気でのびやかに行われました。



白井会長挨拶



若杉隆平学長代理
学生部長伊藤巨志様ご挨拶



総会の様子



村山伸子様 講演の様子

《 仲間で集まりませんか! 》

かざし会では同級会や同期会など同窓生の集まりを補助金で応援しています。

同窓会のネットワーク作りにつながることを願い、年1回10人程度の集まりに補助金を申請していただくだけで1万円を支給します。

同窓会ホームページの「各種書類フォーム」のバナーから入ると申請書をダウンロードできます。必要事項を記入して各部各科同窓会長に提出してください。



幼児教育科5回生

定期幹事会

6月7日（日）クロスパルにいがたにおいて令和8年度定期幹事会を開催しました。

定期幹事会のかざし会からの活動費を受けての各部・各学科が昨年度の事業内容・決算・今年度の事業計画・予算案を報告します。また、各同窓会が情報交換を行える場となっています。今年度は昨年発足した国際経済学部同窓会「ラーレの会」から役員と坂口教授が参加し、新しい風を感じるものとなりました。



国際経済学部同窓会
ラーレの会の皆さん



各部・各科同窓会役員の皆さん

会員からのメッセージ

多くの方々からメッセージを頂きました。一部ですがご紹介いたします。

英文科に学び、幼・小の英語教育にたずさわりました。学生のころが懐かしく思い出されます。学べる分野も増え、学生の皆さんの学びが充実しますことを願います。時々のかざし会からのおたより、楽しみに拝見しております。さらなるご活躍を。(英文 9回生 Y.W)

幼教1回生ですが、2年間はあっという間でした。在学中より、4年制大学になるといいのにねと友人同士、言い合っていました。残念でなりませんでした。後年、4年制大学となり、本当に良かったと思っています。2年間でしたが、素晴らしい先生方、40人の仲間たちとの出会いは宝物です。ますますのご発展を。(幼教 1回生 H.M)

紙媒体の情報が少なくなっております。会報は是非、ぬくもりも同時に届く紙面で届け続けて頂きたいとおもいます。(被服 13回生 S.O)

卒業してもう50年が過ぎました。それ以来、新潟には一度も行けずにおります。近いうちに同級生と行こうと思っています。(英文 8回生 T.K)

県短卒業後、55年の月日が流れ、今年後期高齢者となりました。新卒で航空会社の客室乗務員となり、その後結婚、他業種での就労を経て、今はゆっくりとした日々を送っています。今あるのも、あの海老ヶ瀬の2年間のおかげと思いペンをとりました。本当に県短「ありがとう」と言わせて頂きます。これからもさらなる発展を願います。(英文 4回生 K.T)

短大を卒業して50年余り、早いものです。かざしの会報、いつもありがとうございます。若い方達の活躍される姿を頼もしくうれしく拝見しています。今はまだ小・中学生の孫たちもいずれ社会に出て、自分の道をしっかり進んでほしいと願うこの頃です。(食物 8回生 R.W)

毎年、かざし会会報、懐かしく楽しく拝読しております。県短を卒業して半世紀、海老ヶ瀬の様子も変わっていくことがわかります。ますますのご発展をお祈り申し上げます。(被服 12回生 K.W)

付属幼稚園の閉園、さみしいです。一番の原因は少子化で園児が集まらなくなったからでしょうか？(幼教 24回生 T.N)

かざし48号掲載「同窓生はいま〜」熊倉ひとみさんに感銘、頼もしく思いました。女子短大食物栄養専攻を卒業し、就職し、勤務しながら、県立大大学院を修了され、今後の目標「自らの研究成果を発表したい。」働く疑問が出て、学びの機会が必要です。後輩に続くことを願います。(英文 6回生 Y.N)

大学の校舎が変わり、組織も変わり、こんな時だからこそ、総会に参加し、今の県大(短大)を見てほしいとおもっています。総会の会場が大学ですのでチャンスです。(英文 9回生 S.I)

皆様、お元気でいらっしゃいましょうか。ご盛会を祈っております。(こども学科 斉藤 美和子先生)

Dear beautiful people
I have many memories and feel great gratitude to the teachers and staff who have guided me in my beginning life in Japan.
I hope to meet again! Please be careful of the heat! So many positive changes to the college, I'm proud of you.
(英文科 1987~1991 アラン スモーレン先生)

会報を読んでくださり、ありがとうございます。皆様からの感想が励みになります。執行部会、定期幹事会等で話題にしながら、皆様から楽しみにしていただける会報づくりに努めます。

会則の改正について

現 会 則	改 正 案
第5章 会計 第14条 会費は年会費として毎年度に収めるものとし、入会金は準会員となる大学・大学院入学時に納めるものとする。 但し、入会金については大学及び大学院において重複はしない。 2 退学して正会員にならない者には年度末をもって入会金を返金する。但し、申し出のあった者に限る。 3 年会費は一口2,000円とし、入会金は20,000円とする。 4 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。 第6章 学部同窓会・学科同窓会及び地域支部会 第15条 本会には学部・学科単位同窓会及び地域単位支部会を、総会の承認を得て置くことができる。学部同窓会・学科同窓会及び地域支部会は本会の目的達成のために、相互に主体性をもった事業を行うものとする。 付 則 昭和40年3月22日より施行する。 ↓ 令和6年10月6日一部改正し、令和7年4月1日より施行する。	第5章 会計 第14条 会費は年会費として毎年度に収めるものとし、入会金は準会員となる大学・大学院入学時に納めるものとする。 但し、入会金については大学及び大学院において重複はしない。 2 退学して正会員にならない者には年度末をもって入会金を返金する。但し、申し出のあった者に限る。 3 年会費は一口2,000円とし、入会金は30,000円とする。 4 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。 5 各部同窓会・各科同窓会が休会する場合、その時点で保持する資産は本会が預かる。 但し、預かり期間を10年とする。10年以降は、本会予算に組み込むものとする。 第6章 学部同窓会・学科同窓会及び地域支部会 第15条 本会には学部・学科単位同窓会及び地域単位支部会を、総会の承認を得て置くことができる。学部同窓会・学科同窓会及び地域支部会は本会の目的達成のために、相互に主体性をもった事業を行うものとする。 付 則 昭和40年3月22日より施行する。 ↓ 令和6年10月6日一部改正し、令和7年4月1日より施行する。 令和8年9月27日一部改正し、令和8年10月1日より施行する。

かざし会の由来

「かざし」とは、挿頭す一髪挿すの意味で、髪や冠に花や枝を挿すことを言い、後世の花かんざしの源流となります。

『いにしへの 大宮人はいとまあれや
桜かざして ここにつどえる』
と万葉集にも詠われています。また、「理想を掲げる」という意味もあります。

昭和40年、県立新潟女子短期大学1回生が卒業記念に桜の苗を植え、木の成長とともに母校が繁栄し、いつか桜花でおおわれることを期待し同窓会の愛称として命名したものです。

住所が変わっていませんか？

住所変更等は県立大学のホームページ「卒業生の方へ」から、または、スマホ等で下記の二次元コードを読み取り、「登録情報変更届」にアクセスを！



不審電話にご注意を



かざし会では、年会費入金を促す等の電話での依頼は行っておりません。もしそのような電話があっても、耳を傾けたり誘いに乗ったりしないよう、ご注意ください。

かざし会では、個人情報に規約に則って厳重に管理しており、会報の発送以外の目的で名簿の使用はしていません。

令和7年度新潟県立大学同窓会かざし会決算報告

一般会計

【収入の部】

(単位：円) (△：減)

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
前年度繰越金	657,260	657,260	0	
入会金(令和3年度分繰入)	7,419,650	7,419,650	0	
年会費	1,500,000	1,418,155	△81,845	706件
総会懇親会参加費	150,000	0	△150,000	
雑収入	500	15,478	14,978	利子等
合 計	9,727,410	9,510,543	△216,867	

【支出の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
各部・各科同窓会補助金	1,800,000	1,350,000	△450,000	40万×3、15万×1
定期幹事会費	100,000	94,216	△5,784	
総会費	450,000	131,069	△318,931	
会議費	150,000	95,076	△54,924	交通費・資料(コピー)代等
役員活動費	450,000	416,307	△33,693	
同級会補助金	50,000	0	△50,000	
学生自治会補助金(県立大)	100,000	100,000	0	
後援会費(県立大)	36,000	34,000	△2,000	
会報発行費	2,400,000	2,495,471	95,471	印刷代・送料・保護シール付ハガキ等
入会金・年会費納入手続関連	450,000	409,771	△40,229	利用料・振込用紙印刷代等
かざしルーム家賃	640,000	635,160	△4,840	
かざしルーム維持管理費	72,000	36,474	△35,526	光熱費等
ホームページ管理費	220,000	246,400	26,400	
名簿メンテナンス費	110,000	110,000	0	
通信費	50,000	25,994	△24,006	電話料金・切手代等
消耗品費	100,000	57,821	△42,179	文房具・個人情報保護シール等
文書印刷費	80,000	77,638	△2,362	入学式・卒業式・入会金文書等
雑費	30,000	21,594	△8,406	振込手数料等 含、定期預金誤入金2,410
慶弔費	30,000	0	△30,000	
かざし奨励賞積立金	400,000	400,000	0	
積立金	1,600,000	2,000,000	400,000	
予備費	409,410	52,580	△356,830	かざしルーム看板、エアコン清掃
合 計	9,727,410	8,789,571	△937,839	

次年度へ繰越	720,972	〈収入〉9,510,543－〈支出〉8,789,571
--------	---------	-----------------------------

令和8年度新潟県立大学同窓会かざし会予算(案)

一般会計

【収入の部】

(単位：円) (△：減)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比 較	備 考
前年度繰越金	720,972	657,260	63,712	
入会金(令和4年度分繰入)	6,889,536	7,419,650	△530,114	
年会費	1,500,000	1,500,000	0	
総会懇親会参加費	0	150,000	△150,000	
雑収入	500	500	0	利子等
合 計	9,111,008	9,727,410	△616,402	

【支出の部】

項 目	予 算 額	前年度予算額	比 較	備 考
各部・各科同窓会補助金	1,800,000	1,800,000	0	40万×3(さんしょ、まなざし、ラーレ) 60万×1(UNP RICE)
定期幹事会費	100,000	100,000	0	
総会費	300,000	450,000	△150,000	
会議費	150,000	150,000	0	交通費・資料(コピー)代等
役員活動費	450,000	450,000	0	
同級会補助金	50,000	50,000	0	5件
学生自治会補助金(県立大)	100,000	100,000	0	
後援会費(県立大)	34,000	36,000	△2,000	
会報発行費	2,600,000	2,400,000	200,000	印刷代・送料・保護シール付ハガキ等
入会金・年会費納入手続関連	450,000	450,000	0	利用料・振込用紙印刷代等
かざしルーム家賃	640,000	640,000	0	
かざしルーム維持管理費	60,000	72,000	△12,000	光熱費等
ホームページ管理費	250,000	220,000	30,000	
名簿メンテナンス費	275,000	110,000	165,000	
通信費	50,000	50,000	0	電話料金・切手代等
消耗品費	100,000	100,000	0	シール、封筒、文房具代等
文書印刷費	100,000	80,000	20,000	入学式・卒業式・入会金文書等
雑費	20,000	30,000	△10,000	振込手数料等
慶弔費	30,000	30,000	0	
かざし奨励賞積立金	400,000	400,000	0	
積立金	1,100,000	1,600,000	△500,000	
予備費	52,008	409,410	△357,402	
合 計	9,111,008	9,727,410	△616,402	

監 査 報 告 書

令和8年4月20日

令和7年度新潟県立大学同窓会かざし会会計決算書・通帳・帳簿・領収書の監査を行った結果、適正であることを確認しましたので報告いたします。

監事

※個人情報保護のため印は省略していますが、押印済みの原本は事務所で保管しています。

川上 陽子
徳市 明子

令和7年度(2025年度) かざし会事業報告

令和7年	4月7日	入学式出席 お祝い文書・かざし会説明文書配布
	4月24日	かざしルーム建物入り口集合看板取り付け
	5月27日	新潟県立大学後援会出席
	6月1日	定期幹事会(クロスパルにいがた)
	8月1日	会報「かざし」48号発行
	10月5日	総会(新潟県立大学) 会報48号にて各種議題提案承認 講演 人間生活学部健康栄養学科教授 村山伸子様
令和8年	2月13日	かざし奨励賞審査委員会出席
	3月24日	卒業式・修了式出席 お祝い文書・かざし会説明文書配布
その他		執行部会 各事業準備 資料作成 会費入会金納入状況確認 HP更新作業 等

令和8年度(2026年度) かざし会事業計画(案)

令和8年	4月7日	入学式出席 お祝い文書・かざし会説明文書・会報かざし配布
	5月18日	新潟県立大学後援会出席
	6月7日	定期幹事会(クロスパルにいがた)
	8月1日	会報「かざし」49号発行
	9月27日	総会(新潟県立大学) 会報49号にて各種議題提案 演奏会 人間生活学部子ども学科教授 石井玲子様 他
令和9年	2月	かざし奨励賞審査委員会出席
	3月17日	卒業式・終章式出席 お祝い文書・かざし会説明文書配布
その他		執行部会 各事業準備 資料作成 年会費入会金納入状況確認 HP更新作業 等

令和8年度 かざし会役員名簿(案)

役 職	氏 名	専 攻
会 長(兼かざし奨励賞)	白井智佳子	幼 児 教 育
副会長(兼かざし奨励賞、HP、会計)	富山 歩	国 際 教 養
副会長(兼かざし奨励賞、会報)	中山 知子	幼 児 教 育
会 計	住川 敦子	食 物
会 報	岩田すみ江	英 文
会 報	渡部 敦子	英 文
名簿管理	岩下万紀子	英 文
名簿管理	飯田 悦子	英 文
企 画	小熊 由美	幼 児 教 育
企 画	小林 晶子	幼 児 教 育
企 画	長井ひとみ	幼 児 教 育
企 画	小松 真由	健康栄養
入会金	大和田成矢	国 際 地 域
入会金	中村 有李	国 際 地 域
H P	齋藤 知菜	健康栄養
監 事	櫻井 明子	食 物
監 事	小林智恵子	幼 児 教 育
各部・各科同窓会		
さんしょの会会長	皆川 楓加	健康栄養
まなざしの会会長	野沢 麻美	幼 児 教 育
UNP RICE会長	竹石 三彦	国 際 地 域
ラーレの会会長	澁谷 名望	国 際 経 済
あかね会	平成29年度で活動休止	
国際教養	平成29年度で活動休止	

執行部より

○会費納入をお願いします。

現在は、入学時に「正会員」として入会して「入会金」を頂き、卒業後は「正会員」として「年会費」をお願いしています。ご協力お願いします。

○住所変更等は、必ずご連絡ください。

県立大学のホームページからもできます。

郵送やFAXの場合は、出身学科と卒業年のご記入もお願いします。

〒951-8052

新潟市中央区下大川前通四ノ町二二〇―五七

エスカイア大川前一〇三

新潟県立大学同窓会かざし会宛

(TEL・FAX 〇二五―二四―二八二)

○「かざし会」役員を募集しています！

役員になっていただける方は、何時でもご連絡ください。

編集後記

「日本人は英語を何年間も学んでいるのに、どうしてしゃべれないのかしら」とよく聞かれます。道前さんの寄稿文を読んで、日本人だからではなく、英語を使っているのか、どうなりたいか、というモチベーションの高さが問題なのだと再認識しました。これから会員の皆さんが頑張っている様子を伝え、(岩田)を送って行きたいと思っています。

最後まで読んでくださってありがとうございます。同窓生は一万五千人を超え、八〇代から二〇代の幅広い年代となりました。全員に会報をお送りしています。皆さまのことを思い浮かべながら制作しています。今年、同窓会総会の後半は演奏会です。どうぞ母校に足を運んで楽しい時間を共有しましょう。

皆様からのメッセージをまとめていて、同じ学び舎から巣立った方々が色々な思い、様々な生き様を持ちながらも、母校に対する愛情は、同じなのだなあと思います。この会報を読むことにより、希望に胸を膨らませて、校門をくぐった頃を思い出して頂きたいと思っています。(渡部敦子)